

平成29年2月20日(月)

モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会(第5回)

<歯学教育>

歯科所見による身元確認 — 法歯学教育の必要性 —

公益社団法人 日本歯科医師会
副会長 柳川 忠廣

平成25年2月18日

「内閣府死因究明等推進計画検討会(第5回)」

柳川専門委員提出資料

施設等の整備について

日本歯科医師会

1. 機材の整備について

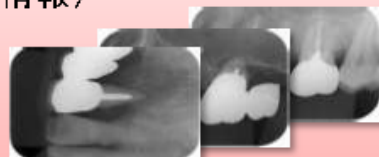
- 身元確認作業の高度化
- それに伴う機材のパッケージ化

宮城県における大震災身元確認ワークフロー および身元確認支援システム

歯科医院などから(行方不明者情報)



生前カルテからデンタル
チャートへの変換



生前歯科X線画像デ
ジタルスキャン

検案所での収集
(遺体情報)



ご遺体



歯科記録
用紙

歯科記録
(デンタルチャート
ほか)



口腔内写真

防水・防塵・耐衝撃
デジタルカメラ(リコーG700)



歯科X線画像

ポータブル 歯科X線撮影装置
(デキンコADX4000)

宮城県警察本部

身元確認支援
サーバー



CPU: Core i7 3.46GHz
6コア12並列
Memory: 24GB (DDR3)
SSD: 256GB SATA (OS用)
HDD: 2TB SATA (画像用)

Dental Finder

デンタルチャート
照合システム
生前→死後検索
死後→生前検索

生前・死後データベース

X線画像, 口腔内写真,
その他の各種資料

生前-死後
対応候補リスト

歯科医師の鑑定
(異同識別)

歯科X線画像
照合システム
(MATLABプログラム)
※今後運用予定

警察による確定
(顔貌・着衣・所持品・指掌紋・DNA等を総合)

(東北大学・青木孝文副学長より資料提供)

遺体情報収集機材のパッケージ化と運用へ

- ①デンタルチャート, ②防水・防塵・耐衝撃カメラ, ③ポータブルX線



2. 災害時の歯科所見の収集

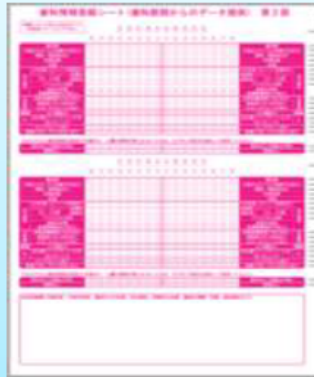
- 正確な歯科情報の標準化
- 迅速な情報収集のシステム化

歯科情報収集の流れ

登録には2種類のケースが存在

- ① 対象者の口腔内所見から、直接、マークシートを記入する場合
- ② 行方不明者のカルテをもとに、所見をマークシートに転記する場合

マークシートの代わりにタブレット端末などを介した登録も可能



記入済みマークシート

標準デジタルデータ

歯科情報登録担当者
(各県歯科医師会・歯科大学ほか)

マークシートを読み取り、
標準デジタルデータへ変換



標準デジタルデータ

歯科情報提供機能を有する
電子カルテによる登録の流れ



マークシート印刷



記入済みマークシート

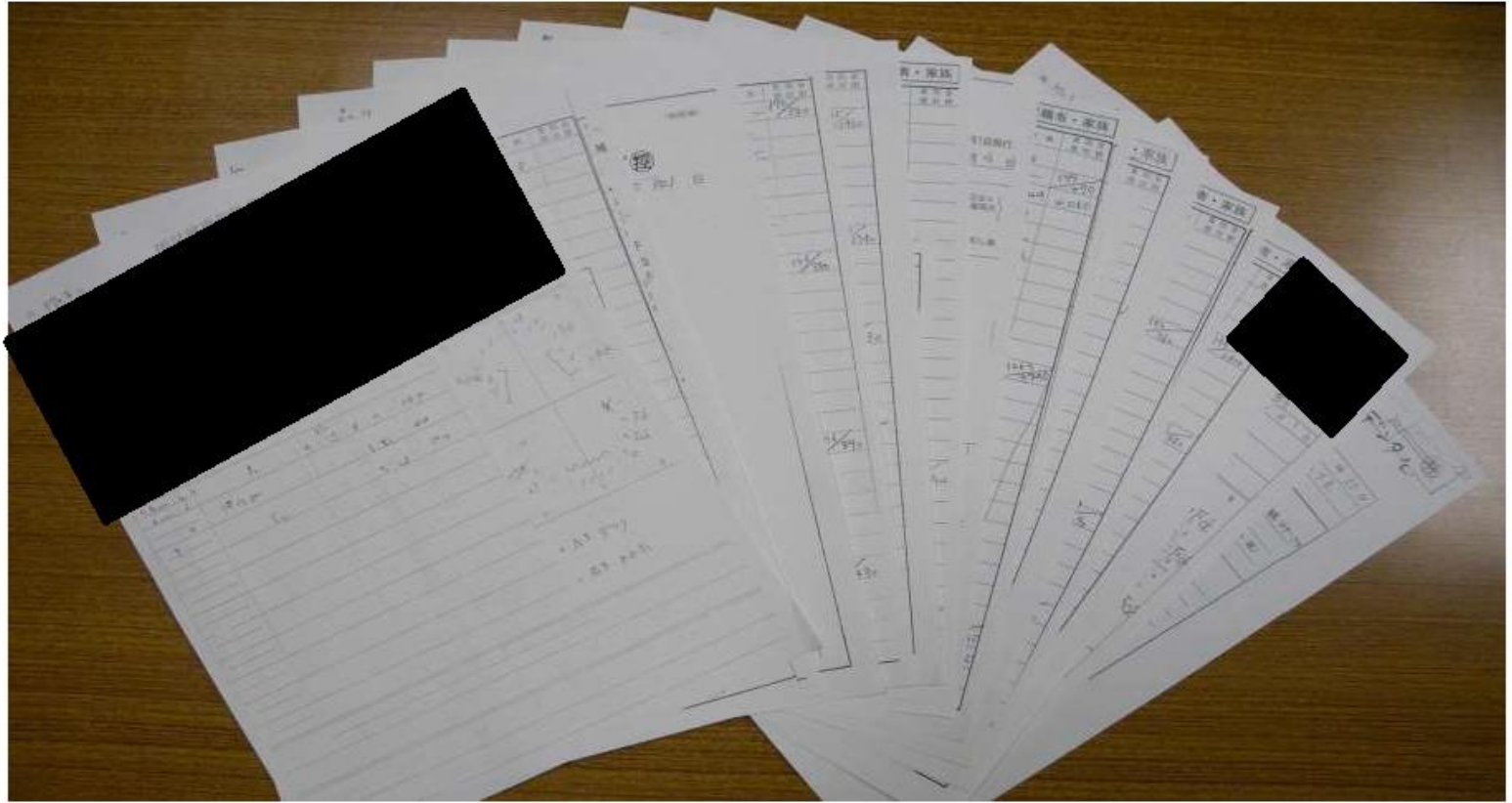
標準デジタルデータ

「マークシートの印刷」と「標準デジタルデータの出力」の両方が可能(患者ごとに選択可)

歯科情報データ

- ① 災害時に収集(事後方式)
- ② あらかじめ収集(事前方式)

実際のカルテは多数の枚数からなる

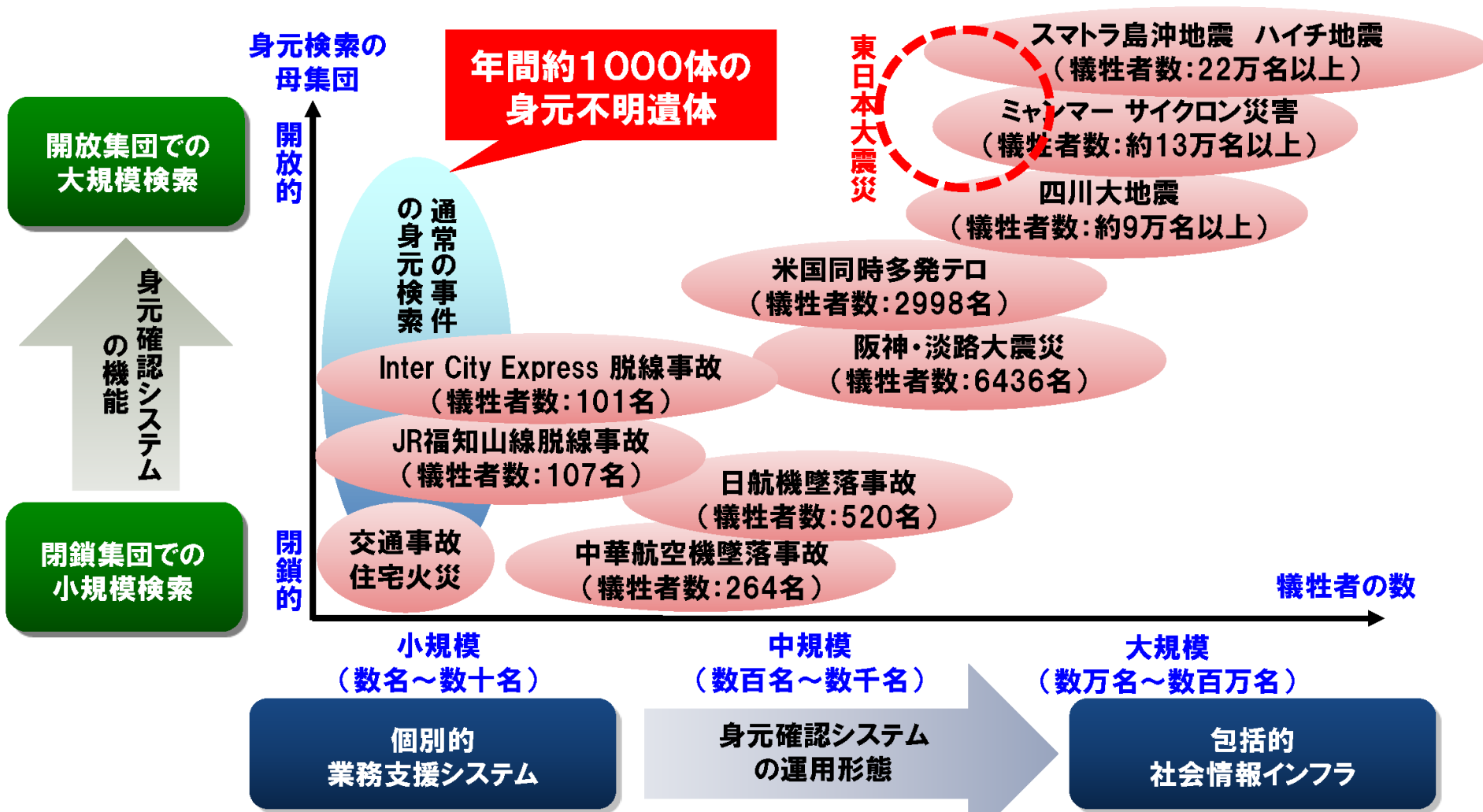


- ①この情報から最新のデンタルチャートを推定
- ②5分類データに変換してコンピュータに入力

3. データベースの構築

- 警察における既存制度への歯科所見の付加
- 情報の所有・管理および提供体制の整備
- 現行の健診データ等の利活用

身元確認を支援するシステムの適用範囲



身元確認に用いられる生体特徴

	遺体損傷に対する耐性	精度	コスト	時間	生前データベースの受容性
顔	×	△	◎	◎	△
指紋・掌紋	×	◎	○	○	×
歯	◎	◎	○	○	◎
DNA	◎	◎	△	△	×